

前橋市情報誌「新樹」への執筆レポート

本校の生徒が、前橋市の情報誌へ執筆をしましたので紹介します。

前橋市男女共同参画情報誌

前橋市のホームページからでもご覧になれます

前橋市 新樹

検索

あなたは将来どんな仕事がしたいですか？



いつでも、安全運転!!

私たちがインタビューしました。

〇女性運転士

上毛電気鉄道株式会社(上電)女性運転士の、信澤さんと小泉さんにお話を伺いました。お二人は、初めは各々の好奇心から運転士に興味を持ち、声をかけられたチャンスに機にこの仕事に就いたそうです。仕事の上で性別による大きな壁はありませんでした。女性一人でも運転ができるよう会社側が配慮し、早朝出勤を続けることで分担を行っているそうです。また、異常時の車両連結の時など力仕事やスーター対応に関しても、社内で声を掛け合い協力しています。性別に関わらず安心して働ける、職場での工夫が感じられました。乗客を安全・安心に運ぶのが運転士の仕事であり、地域の人の生活に貢献し、必要とされる喜びにやりがいがあると語ってくれました。

上電利用者限定で、沿線各種施設での優待特典があり、10月27日には「中小私鉄フェア」が開催予定です。大胡車庫では、希少なレトロ車両・デハ101の臨時運行も

行われます。この秋は上電で、地元群馬の景色をゆっくり味わいながら、電車の旅を楽しんでみてはいかがでしょうか。



【最新号】

新樹 第36号 (令和元年10月15日発行)



新樹36号 (令和元年10月)
(PDF:5.7MB)

36号8ページ「あなたは将来どんな仕事をした Generation (ネクストジェネレーション) のメンバーが、特集ホームページより、さらに詳しく取材内容が掲載されています。下記リンクからぜひご覧ください

「あなたは将来どんな仕事をしたですか」特集ページはこちらから

さらに、こちらをクリックすると詳しい内容が読めます。

○詳しい内容の一部分です。

● 電車運転士

電車運転士の紹介

電車運転士は、乗客や貨物などを安全確実に目的地まで送り届ける。車両のモーター、ブレーキなどを点検はもちろん、時間も正確な仕事に必要な為とても慎重さが必要である。出発の時刻になったら発車し、信号や踏切などに気を配りながら電車が予定通り駅に到着するように運転する仕事だ。



上毛電気鉄道運転士

信澤さん

小泉さん

※ご本人のご希望により、名字のみの掲載とさせていただきます。

Q&A

Q なぜ運転士になろうと思ったか？

A 信澤：学生時代に駅員のアルバイトをして、仕事内容に興味を持ったからです。

小泉：もともと乗り物は好きで、切符を切ってみたいと思ったからです。

Q 男性が多い中、この職を選んだ理由は？

A 信澤：社長から「運転士になってみない？」とお声掛けいただいたのがきっかけです。当時は想像もしていませんでした。

小泉：「やってみたい」という興味からです。

Q 運転士になると決断した時の周囲の反応は？

A 信澤：初めは心配されましたが、なってみたら今では「丁寧で上手いね！」と周りの印象も変わりました。

小泉：プラスの意見や応援してくれる人が多かったです。

Q 仕事をしていてよかった点、大変だった点は？

A 信澤：天気が良いと、運転していて気持ちいいです。大変なのは、荒天時の準備や運転と、朝がいつも3時起きと早いことです。寒い日は特に行きたくない気持ちと頑張って戦ってますね...(笑)

小泉：停車時にびったり止まると嬉しいです。職場や学校へ向かう人を目的地まで送り届ける仕事なのが誇らしいです。

私も朝が早いと、雪の日の運転は視界も悪いので大変です。

Q お仕事で女性ならではの苦労はありましたか？

A 信澤：基本的に一人の仕事なので、女性だからという理由で苦労したことはないように思います。会社側の配慮で、早朝出勤する代わりに夜の運転は男性が担当しています。ストーカー対策などでもすぐに対応してもらっています。

小泉：故障したときの電車の連結の力仕事は大変なので、声を掛け合い協力してやっています。男性のみが夜の運転があって泊まりなので、申し訳なさがありますね。